

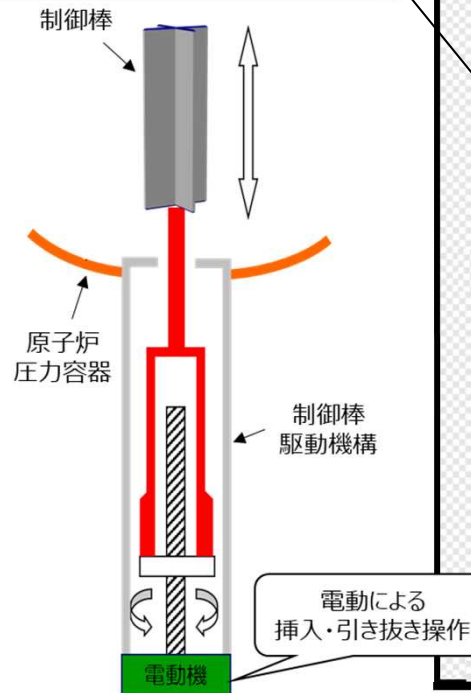
6号機における原子炉系主要設備の健全性確認について

- 7号機同様6号機についても、今後、主要な原子炉系設備の健全性確認を実施
- 4月中旬から、主蒸気隔離弁の動作確認を開始予定。なお、原子炉系設備の健全性確認は、燃料装荷後も続くものではあるが、今回は、燃料の移動を伴わない部分を確認
- 安全最優先で、何かあれば一つひとつ確認のもと、健全性確認を進めてまいる

③制御棒駆動機構

【確認内容】

205本の制御棒について1本ずつ電動による挿入・引き抜き操作を行い、全ての制御棒駆動機構が正しく動作することを確認



①主蒸気逃がし安全弁

【確認内容】

主蒸気逃がし安全弁の動作確認



タービンへ

②主蒸気隔離弁

【確認内容】

主蒸気隔離弁の開閉動作の確認、圧縮空気を流すことで漏えいがないかを確認



①主蒸気逃がし安全弁、②主蒸気隔離弁の健全性確認の概要

【設備概要】

- ①主蒸気逃がし安全弁：主蒸気隔離弁が閉まった際に、原子炉の蒸気を圧力抑制プールに逃がし、原子炉圧力を低下させることで、低圧注水を行えるようにするための弁
- ②主蒸気隔離弁：万が一の事故時に、放射性物質を含む蒸気等が原子炉格納容器の外側に流れないようにするための弁

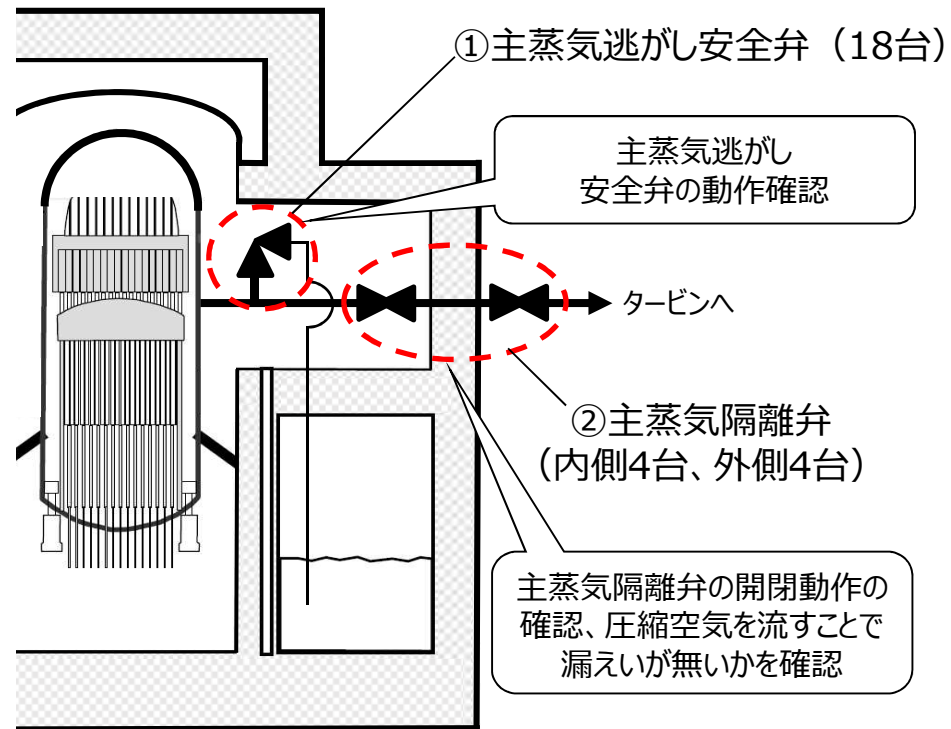
【確認概要】

- 主蒸気逃がし安全弁の動作確認
- 主蒸気隔離弁の動作確認および漏えい確認

①主蒸気逃がし安全弁



②主蒸気隔離弁（内側）



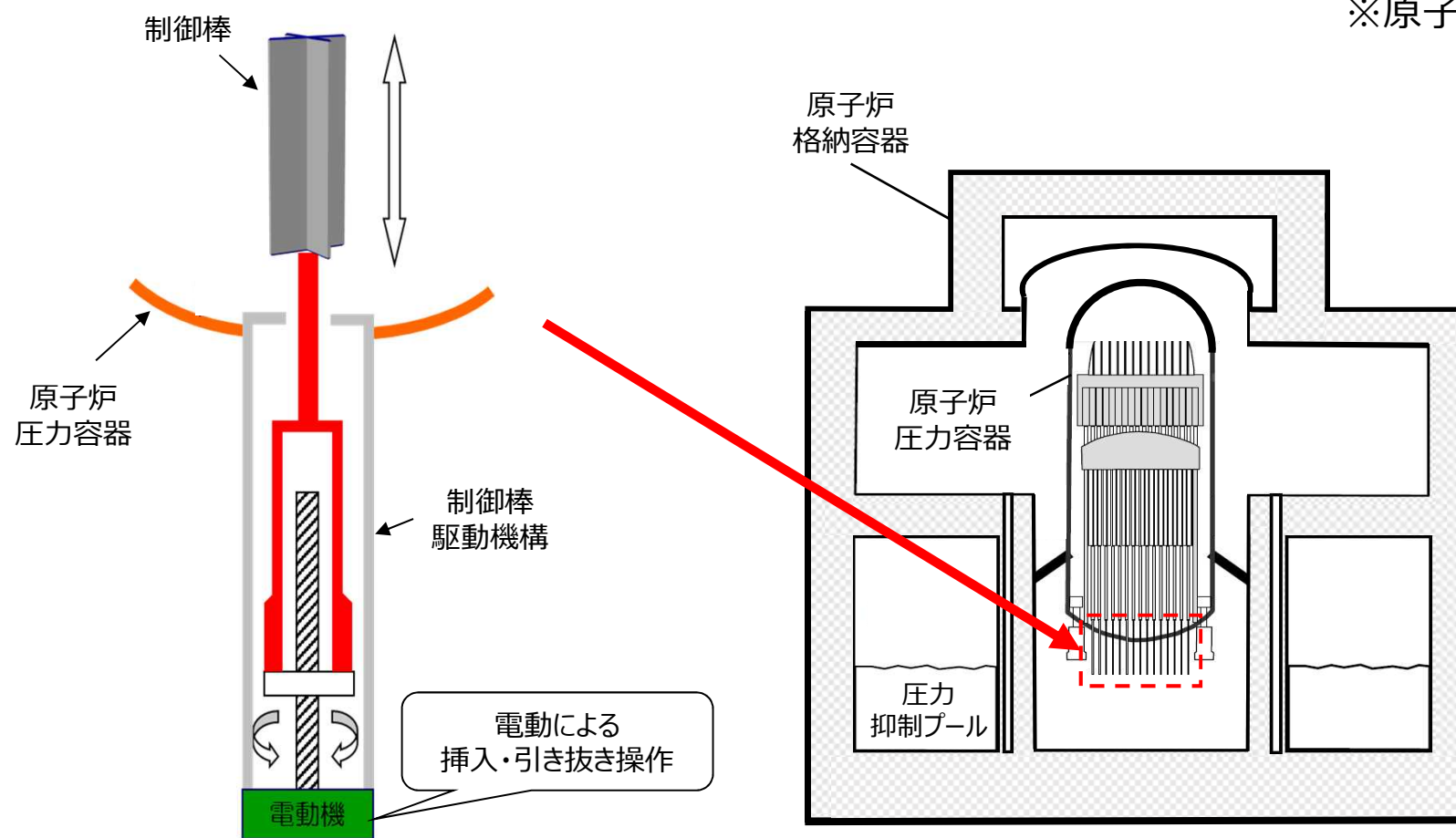
③ 制御棒駆動機構の健全性確認

【設備概要】

- 原子炉の起動時、停止時、出力制御時に電動または緊急時には水圧にて制御棒を動かす設備

【確認概要】

- 205本の制御棒について1本ずつ電動による挿入・引き抜き操作を行い、全ての制御棒駆動機構が正しく動作することを確認
- 水圧による動作確認（スクラム※動作確認）は、燃料装荷後に実施



※原子炉緊急停止